



あなたも…  
紙面に参加  
しませんか

このページは火曜日から土曜日付にわたり「かんばつてます・音楽」「マ」お店紹介」「マ」イベントの紀南「マ」釣り」「マ」映画と娯楽」の形で、身近な生活情報としてソフトタッチで連載しています。あなたもこのページに参加しませんか。

近身や物催しなど  
ニュースな  
電話0739-24-7171  
へご連絡下さい。

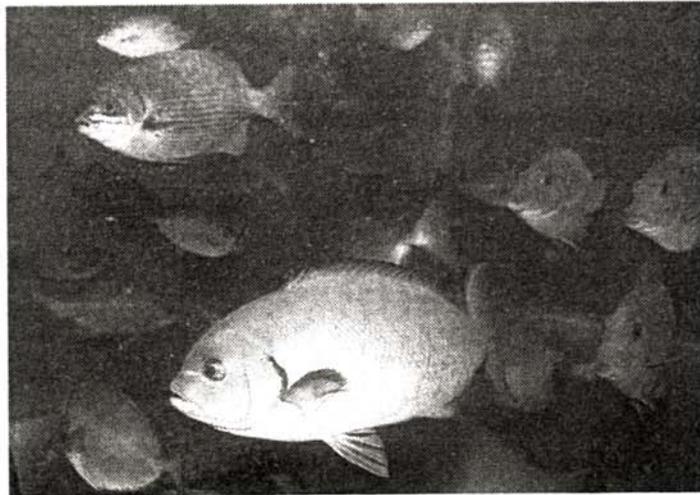
# 春磯に備え水族館巡り

## グレやアイゴの食事タイムも

梅が咲き、陸上では春の気配が感じられてきたが、海中はまだ冬。本格的な春磯に備え、水族館巡りなどはどうだろうか。魚たちの泳ぎ方や口の使いを見るのもおもしろい。環境が違いため、釣りの参考にはならないだろうが、家族サービスも兼ねて県内の水族館に行ってみよう。

白浜町臨海にある京都大学白浜水族館(0739・42・3515)には紀南地方に生息する魚たちを中心に展示している。無脊椎(せきつゐ)動物も多く、マニアクなどところもあっておもしろい。

釣りで有名なグレやアイゴ、イスズミ、イシガキタイなどは一番奥に展示されている。ただ眺めているだけでもいいのだが、1日2回の餌やりタイムがお勧めだ。朝は開館直後の午前9時から午前9時半ごろ。午後は午後3時から午後5時。午後3時前後にある昼の部がメインになってくる。オキアミと大小の人工飼料がメインだ。月・水・金にはワカメなど植物性の餌も与えられる。年中無休で入場料は高校生以上の大人が500円、小中学生は110円。入館は午後5時まで。



海南市船尾にある県立自然博物館(073・49時半〜午後5時(入館

望台が閉鎖されていることから、今は大人630円、小中学生390円だが、3月3日から展望台が復旧するため、通常の1050円と650円に戻す。

このほか、太地町の町立くじらの博物館(0735・59・2400)にも水族館がある。開館は午前8時半〜午後5時。入場料は大人1050円、小学生630円となっている。

△おなじみのグレやアイゴがゆゆうと泳ぐ水槽(白浜町臨海の京都大学白浜水族館で)